

# 【0020・境川流域下水道反対運動資料】

## 資料群概要（フォンドレベルの情報）

**作成主体：**在間正史（ざいま まさし）

**資料群名称：**境川流域下水道反対運動資料

**年代：**1959－2003

### 要約：

境川流域下水道反対運動資料（以下、本資料と略記）は、2011年2月22日に環境アーカイブズに在間正史氏より寄贈されたもので、全297ファイルからなる。1971年、愛知県にある境川流域に下水道の建設計画が立ち上がった時、それに反対する住民たちが裁判を起こした。本資料はこの裁判に関わった弁護士の在間氏が作成、収集した裁判関係資料や反対運動のミニコミ資料からなる（例えば「第4回 収用委員会 審理速記録」や『境川流域下水道計画反対連絡会議ニュース』第16号などの資料が存在する）。資料の年代幅は1959年から2003年にかけてである。

**総量：**7箱（297ファイル）

**受入番号：**0020

**言語：**日本語

## 資料群の管理と利用に関する情報

### 出所：

作成主体である在間氏は境川流域下水道収用裁決取消訴訟における原告の弁護士であり、本資料は在間氏がその過程で収集したものである。

**関連する資料群：**0010、0011 徳山ダム建設反対運動資料

徳山ダム建設反対運動資料は、徳山ダム建設反対裁判に弁護士として関わっていた在間正史氏から寄贈されたものである。

**利用の形態：**原本利用

### 整理方法についての情報：

環境アーカイブズ RA の洪昌極により、目録の作成が行われた。本資料の多くは、寄贈の時点で、封筒などにいくつかの資料がまとめられていた。さらに、その中に封筒やフラットファイルなどの形で資料のかたまりが存在し、その中にもっと小さな単位となる書類があるという、大まかに3つの階層を為してまとめられていた。そのため目録の作成にあたっては寄贈時のまとまりを尊重し、「ファイル名」、「サブファイル名」、「アイテム名」という3階層で記述した。なおファイリングや封筒詰めをされず単独で存在していた資料は、1アイテムとして中性紙封筒に収納した。

### 引用する場合の表記方法：

「境川流域下水道反対運動資料、受入番号 0020、各ファイル番号、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ所蔵」と明記すること。

**利用制限：**環境アーカイブズ規定の個人情報取扱内規に基づき運用する。

### 作成者の権利について：

所有権は法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズが有する。著作権は個々の資料による。

### 作成主体についての情報

在間正史氏は愛知県弁護士会所属の弁護士で、司法修習生時代に「長良川河口堰に反対する市民の会」にも参加している。1978年より河口堰建設が始動すると、長良川河口堰建設差止訴訟に関わる。その後、徳山ダム建設反対訴訟では弁護団長として関わり、2013年には愛知県の設楽ダム建設反対訴訟に関わるように、水利系の環境問題に詳しい弁護士として現在も活躍中である。

境川流域下水道反対運動とは、1971年に愛知県によって名古屋市東部を対象に計画された境川流域下水道の設置に対して、境川流域下水道元刈谷反対同盟（以下、反対同盟）を中心におこなわれた、訴訟を含む一連の反対運動である。この訴訟は、愛知県収用委員会が土地収用法に基づいて下した、終末処理場予定地の収用裁決に対して、反対同盟の土地所有者が取消を求めて起こした行政訴訟である。

### 資料群の内容

本資料は、反対同盟などの運動団体の作成した反対運動関係資料と、土地収用の取消を求める裁判に関する資料からなる。裁判は1981年に名古屋地裁提訴、93年原告敗訴の判決、同年に控訴し、1997年に同じく原告敗訴判決、同年に上告、2002年3月に県と和解するが、4月には最高裁で原告敗訴の判決がなされた。

目録のファイル名・サブファイル名・アイテム名は、フラットファイルの場合、背表紙等に記されていた名称を記載した。書類綴じの場合、中に含まれるいくつかの資料のタイトルを例示的に〔 〕内に記載した。

### 参考文献

- 在間正史「境川流域下水道収用裁決取消訴訟（特集 境川流域下水道）」『水情報』23（2）、2003年2月。
- 「境川流域下水道元刈谷反対同盟委員長 渡辺育穂さん流域下水道反対運動語る（特集 境川流域下水道）」『水情報』23（2）、2003年2月。
- 中西準子「インタビュー 境川流域下水道が与えた影響—中西準子さんに聞く（特集 境川流域下水道）」『水情報』23（2）、2003年2月。

- 富永俊亮、鈴木博和、余語正義「愛知県境川流域下水道訴訟を終えて：30年にわたる反対運動の終結を迎えて」『下水道協会誌』39（478）、2002年8月15日。

整理担当および資料群概要作成者：RA 洪昌極

2019年6月24日